

2025年度第1四半期 決算説明資料

あしたにいいこと、
KOBELCOと。

2025年8月7日
株式会社 神戸製鋼所
証券コード 5406



- 総括
- 2025年度 第1四半期業績
- 2025年度 業績見通し
- 株主還元
- セグメント情報
- 参考資料

2025年度 第1四半期業績

- 自動車をはじめとした主要な需要分野の活動水準は概ね前年同期並みで推移。
- 業績については、**経常損益は前年同期比減益の287億円**となった一方、政策保有株式・土地の売却に伴う特別利益を計上したことなどにより、**四半期純損益は前年同期比増益の386億円**となった。

2025年度 業績見通し

- 第2四半期以降の需要環境は、**米国関税影響による自動車生産の減少リスク**に加え、建築・土木関連についても低調に推移すると想定。また、米国経済の不透明感を受けた設備投資の停滞を見込む。
- 業績見通しについては、**米国の関税リスク(△50億円)**に加え、在庫評価影響の悪化などにより、**経常損益は1,100億円に下方修正**するものの、特別損益の増益等により、**当期純損益は前回並みの1,000億円**を見通す。ROICについては、前回並みの5%程度を維持。
- フリーキャッシュフローは、経常損益の悪化に加え、下請法対応のための運転資金の増加などにより700億円に下方修正。D/Eレシオは前回比悪化の0.7倍程度を見通す。

株主還元

- 中間配当:40円、年間配当:80円**の前回方針から変更なし。

2025年度 第1四半期業績

		前年同期比
売上高	5,690億円	△216億円
経常損益	287億円	△62億円
在庫評価影響を除く	327億円	△12億円
親会社株主に 帰属する四半期純損益	386億円	+145億円

2025年度 業績見通し

		前回比
売上高	2兆4,800億円	△700億円
経常損益	1,100億円	△100億円
在庫評価影響を除く	1,155億円	△60億円
親会社株主に 帰属する当期純損益	1,000億円	±0億円
フリーキャッシュフロー	700億円	△200億円

財務指標
2025年度見通し

ROIC	: 5%程度	(前回: 5%程度)
ROE	: 8%程度	(前回: 8%程度)
純資産比率	: 44%程度	(前回: 44%程度)
D/Eレシオ	: 0.7倍程度	(前回: 0.65倍程度)

株主還元

1株あたり中間配当40円、年間配当80円の方針(前回から変更なし)

2025年度 第1四半期業績



(単位:億円)	2024年度			2025年度見通し(今回)			増減 ②-①
	1Q ①	上期	通期	1Q ②	上期	通期	
売上高	5,907	12,485	25,550	5,690	12,100	24,800	△216
営業損益	310	777	1,587	313	600	1,300	+2
経常損益	350	709	1,571	287	500	1,100	△62
在庫評価影響を除く	340	669	1,561	327	545	1,155	△12
特別損益	—	53	△161	167	167	200	+167
親会社株主に帰属する 当期純損益	240	565	1,201	386	550	1,000	+145

売上高

鉄鋼主原料及び発電用石炭の価格下落に伴う、鉄鋼・電力での販売価格の低下に加え、建設機械における販売台数の減少等により、前年同期比減収

経常損益

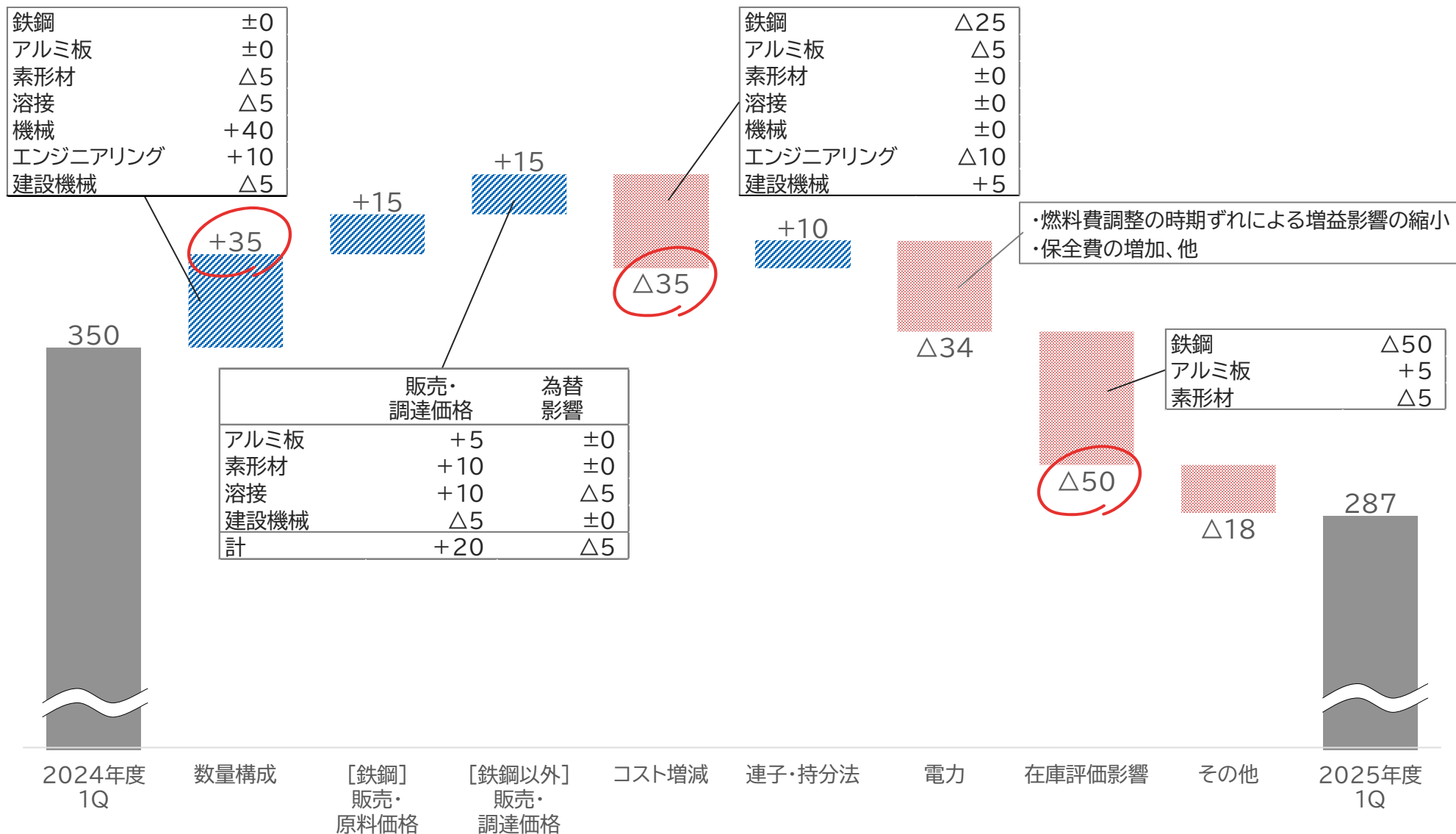
機械での売上の増加、素材系事業での価格転嫁の進展等があったものの、固定費を中心としたコストの増加、在庫評価影響の悪化等により、前年同期比減益

当期純損益

経常損益の悪化はあったものの、政策保有株式・土地の売却等で特別利益を計上したこと等により、前年同期比増益

2025年度 第1四半期業績:経常損益 前年同期比

△62億円



※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

2025年度 第1四半期業績:経常損益 各セグメントの状況

	2024 1Q実績	2025 1Q実績	差異	
鉄鋼	127	60	△ 66	メタルスプレッドの改善があった一方、労務費・保全費等の固定費を中心としたコストの増加、在庫評価影響の悪化等により、減益
在庫評価影響を除く	122	105	△ 16	
アルミ板	△ 18	△ 5	+ 12	固定費の増加があった一方、価格転嫁の進展やディスク事業の海外関係会社での増益等により、改善
在庫評価影響を除く	△ 18	△ 10	+ 7	
素形材	10	0	△ 9	価格転嫁が進展した一方、自動車向けの販売数量の減少等により、減益
在庫評価影響を除く	5	0	△ 4	
溶接	10	9	△ 1	販売数量の減少、円高による輸出採算の悪化等により、減益
機械	62	105	+ 42	エネルギー・化学向けを中心とした本体・サービス売上の増加等により、増益
エンジニアリング	14	11	△ 2	案件構成差等により、減益
建設機械	17	12	△ 4	固定費の減少があった一方、販売台数の減少等により、減益
電力	120	85	△ 34	燃料費調整の時期ずれによる増益影響の縮小や保全費等の増加により、減益

- 政策保有株式・土地の売却益を計上した一方、日本高周波鋼業(株)の特殊鋼事業譲渡にあたって見込まれる株式売却損の引当を実施したことにより、特別損益は167億円となった。

特別損益の内訳

(単位:億円)

		2025年度 1Q実績	主な内訳
	投資有価証券売却益	144	・ 日本製鉄(株)株式等の政策保有株式の売却益を計上
	固定資産売却益	61	・ 海外に保有する土地の売却益を計上
	関係会社株式売却損失 引当金繰入額	△38	・ 日本高周波鋼業(株)の特殊鋼事業譲渡にあたり、発生が見込まれる株式売却損について、引当金を計上
	特別損益	167	

青字は需要変動の影響を受けるユニット

自動車

(鉄鋼、アルミ板、アルミ押出、サスペンション、銅板、鉄粉、溶接)

米国向け完成車輸出の減少リスク(△20%)を想定したことなどから、国内・海外ともに**前回比減少**

IT・半導体

(アルミ板、アルミ鋳鍛、銅板)

HDD需要は、データセンター向けの投資が引き続き堅調に推移しており、**前回並み**
半導体関連は、緩やかな回復基調は継続しており、**前回並み**

造船

(鉄鋼、鋳鍛鋼、溶接)

手持ち工事量は堅調に推移しているものの、人手不足の継続等により、**前回並み**

航空機

(チタン、アルミ鋳鍛)

老朽機リプレイスや新規建造の拡大など引き続き需要は堅調に推移しており、**前回並み**

飲料用缶

(アルミ板)

ビール類需要は減少傾向が継続しており、**前回並み**

建築・土木

(鉄鋼、溶接)

人手不足に伴う、中小型案件での工事の着工遅れなどにより、**前回比減少**

(機械)

エネルギー
・化学

米国及び中国・近隣諸国における米国向け製品関連の設備投資の停滞等から、**前回比減少**

一般産業

国内は、堅調に推移
海外は、中国・東南アジア市場の需要は引き続き低迷

(建設機械・油圧ショベル)

日本

レンタル需要の低迷等により、**前回比減少**

中国

政府主導の農地整備工事が牽引し、**前回比増加**

北米

インフラ向け需要が堅調に推移しており、**前回比増加**

欧州

建設業界の需要低迷の長期化等により、**前回比減少**

東南アジア

インドネシアでの農林業向け需要の回復等により、**前回比増加**

2025年度 業績見通し

(単位:億円)	2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)			増減 ②－①
	上期	下期	通期 ①	上期	下期	通期 ②	
売上高	12,400	13,100	25,500	12,100	12,700	24,800	△700
営業損益	600	800	1,400	600	700	1,300	△100
経常損益	550	650	1,200	500	600	1,100	△100
在庫評価影響を除く	570	645	1,215	545	610	1,155	△60
特別損益	200	△50	150	167	33	200	+50
親会社株主に帰属する 当期純損益	500	500	1,000	550	450	1,000	±0

売上高

素材系事業での販売数量の減少、鉄鋼主原料及び発電用石炭の価格下落に伴う、鉄鋼・電力での販売価格の低下等により、前回比減収の見通し

経常損益

米国関税リスクに加え、素材系事業での販売数量の減少や在庫評価影響の悪化等により、前回比減益の見通し

当期純損益

経常損益の悪化を見込むものの、日本高周波鋼業株式の売却損の減少や下期での資産売却の追加による特別損益の増益等により、前回並みの見通し

- 米国の関税政策に伴う業績影響は、第1四半期においては顕在化していない。
- 第2四半期以降、直接輸出での**建設機械の採算悪化**に加え、間接輸出での**素材系事業における米国向け完成車輸出の減少リスク**など、合計△50億円の米国関税リスクを織り込み。

直接輸出 △20：建設機械の米国販社での関税負担は価格転嫁を進めるが、一定の採算悪化を想定

間接輸出 △25：素材系事業で、米国向け完成車輸出が△20%減少する前提での数量減少リスクを想定

その他 △5：米国現地法人(販社除く)における輸入品の関税負担等を想定

【直接輸出】

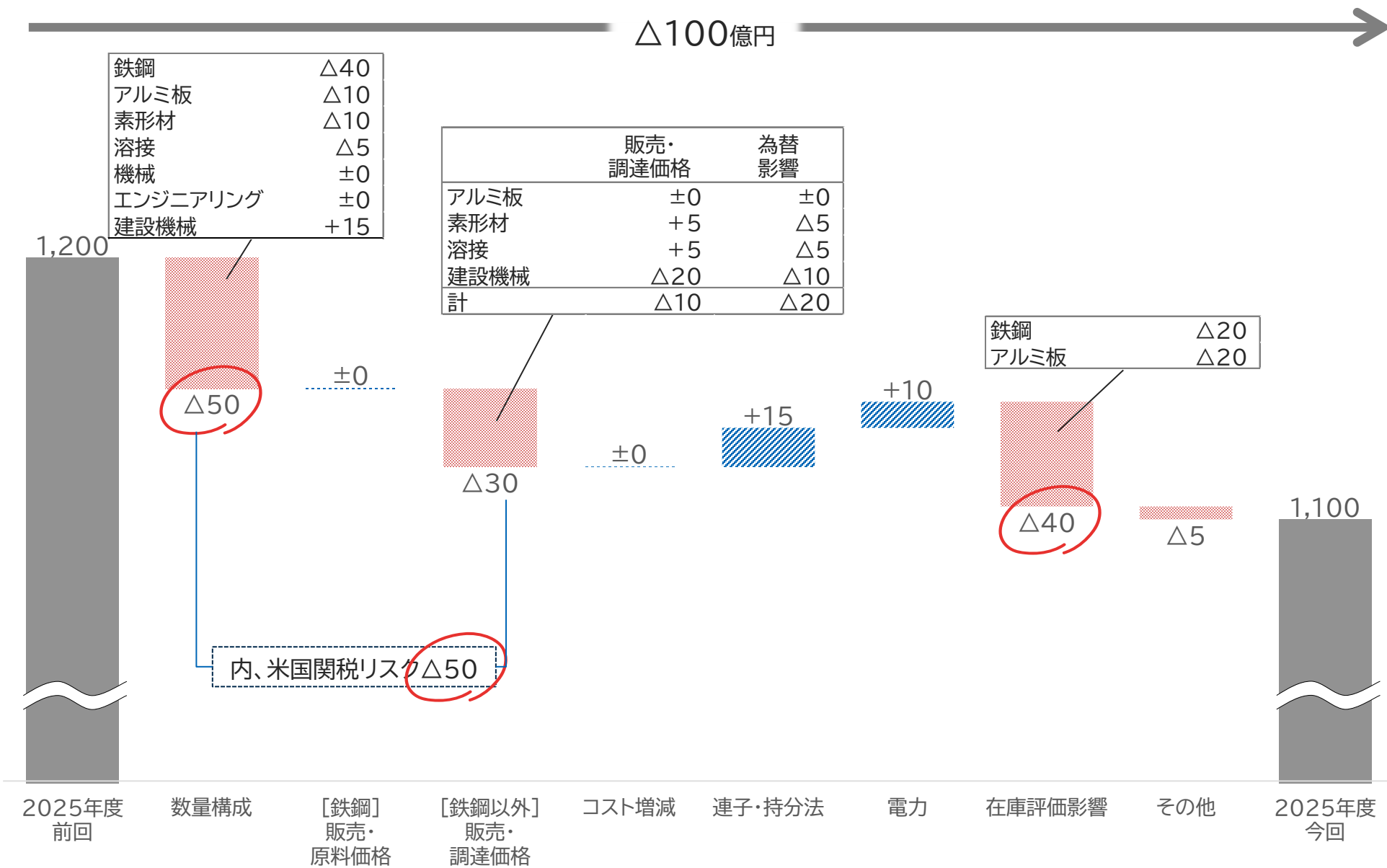
セグメント	主な需要分野等	適用関税率(2024年度比)	取引規模
鉄鋼	自動車	鉄鋼・アルミ+50%	販売数量の3%程度
アルミ板	自動車	鉄鋼・アルミ+50%	販売数量の3%程度
建設機械	建築土木	相互関税+15%	売上高の10%程度※

※ショベル・クレーンの合計

【間接輸出、他】

- 鉄鋼、アルミ板、素形材(押出・サスペンション・鉄粉)において、自動車関連を中心にお客様の製品が米国向けに輸出されているものがあり、直接輸出に比べ取引規模は大きい。
- 機械においては、米国現地法人の売上が全体の7%程度ある。

2025年度 業績見通し: 経常損益 前回比



2025年度 業績見通し:経常損益 各セグメントの状況

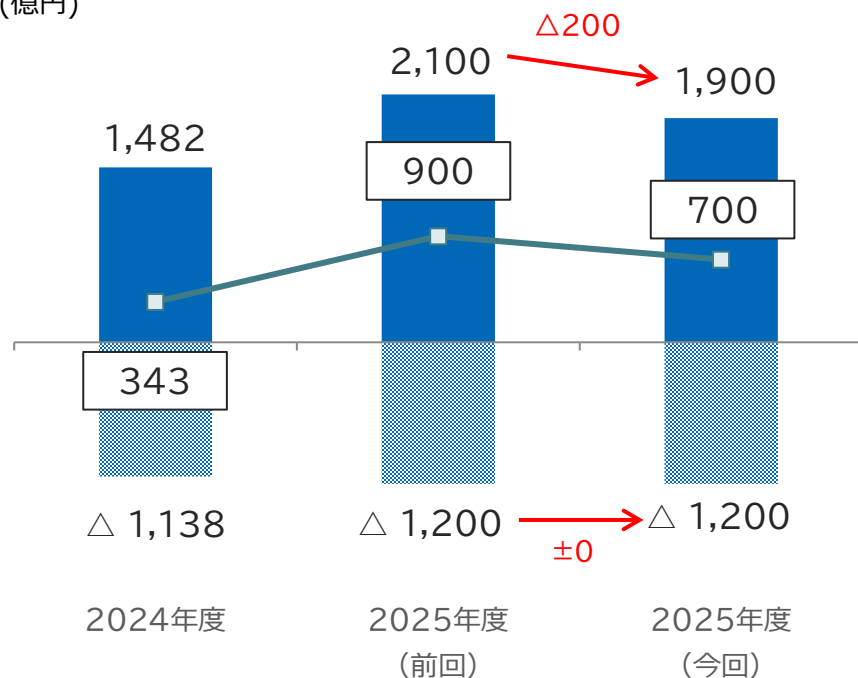
	2025 前回	2025 今回	差異	
鉄鋼	130	90	△ 40	米国関税リスク及び建築・土木向け需要低迷に伴う販売数量の減少を見込む 他、在庫評価影響の悪化等により、減益の見通し
在庫評価影響を除く	185	165	△ 20	
アルミ板	0	△ 20	△ 20	中国関係会社でコスト改善等での増益を見込むものの、自動車パネルを中心 とした販売数量の減少に加え、在庫評価益の縮小等により、悪化の見通し
在庫評価影響を除く	△ 30	△ 30	± 0	
素形材	80	70	△ 10	自動車向け販売数量の減少等により、減益の見通し
在庫評価影響を除く	70	60	△ 10	
溶接	55	50	△ 5	販売構成の悪化や円高による輸出採算の悪化等により、減益の見通し
機械	400	400	± 0	前回並みの見通し
エンジニアリング	120	120	± 0	前回並みの見通し
建設機械	95	85	△ 10	販売台数の増加を見込むものの、関税コストアップ等により、減益の見通し
電力	340	350	+ 10	一般炭市況の下落に伴う燃料費調整の時期ずれによる増益影響等により、 増益の見通し

- ・ 営業キャッシュフローは、経常損益の悪化に加え、下請法対応(手形廃止)による運転資金の増加などにより、前回比200億円減少の1,900億円、フリーキャッシュフローは700億円程度となる見通し。
- ・ 有利子負債残高はフリーキャッシュフローの悪化などにより、前回比300億円の増加を見込む。D/Eレシオについては、前回比0.05ポイント悪化の0.7倍程度となる見通し。

キャッシュフロー

■ 営業キャッシュフロー ■ 投資キャッシュフロー ■ フリーキャッシュフロー

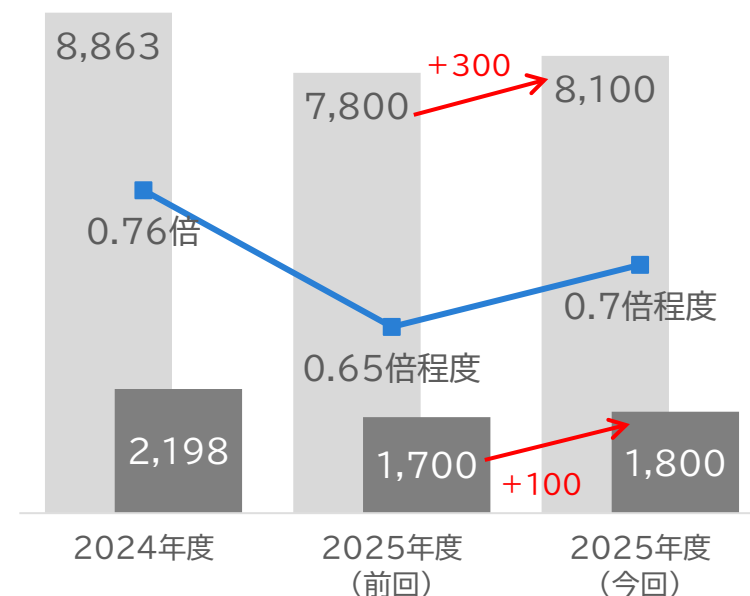
(億円)



D/Eレシオ

■ 有利子負債残高(リース含む) ■ 現預金残高 ■ D/Eレシオ

(億円)



前回公表の方針のとおり、「1株につき中間配当40円、年間配当80円とする方針」は変更なし

還元方針 継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、財政状態、業績の動向、先行きの資金需要等を総合的に考慮して決定

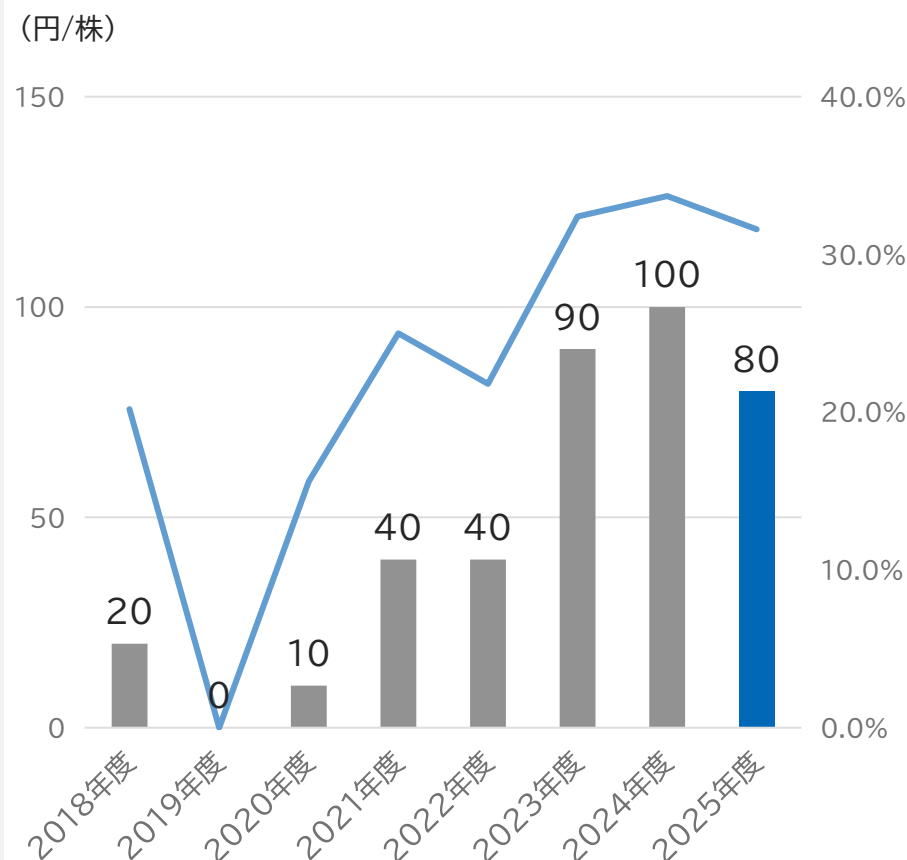
中期経営計画(2024～2026年度)

配当性向 30%程度

配当金額(円/株)
配当性向(%)

2024年度		2025年度(方針)	
中間	期末	中間	期末
45円	55円	40円	40円
100円		80円	
32.8%		31.5%	

配当金額・配当性向



セグメント情報

2025年度第1四半期業績・2025年度業績見通し



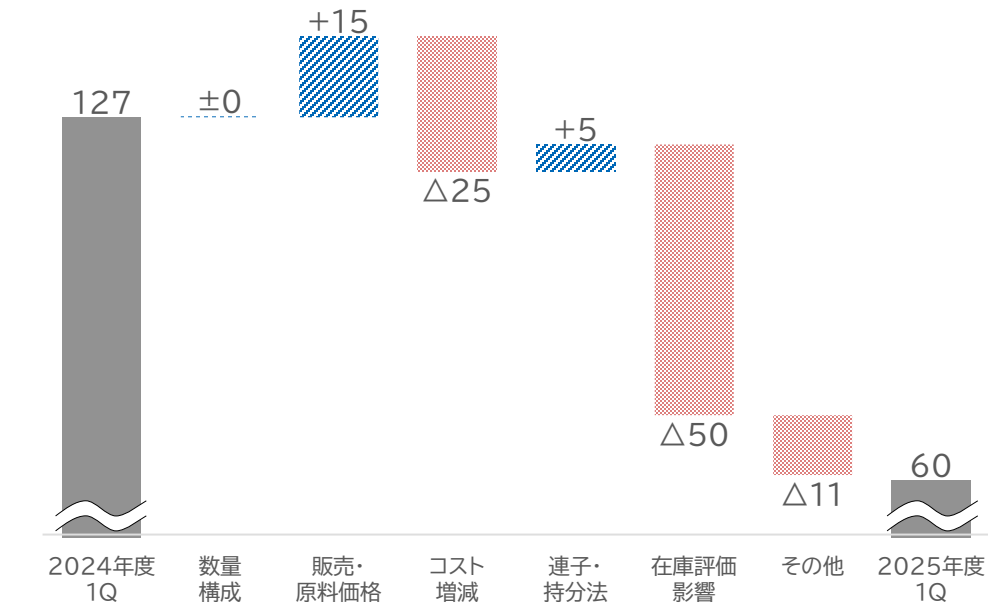
(単位:億円)

	2024年度		2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)				2024年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	1Q ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③
鉄鋼アルミ	2,727	11,161	5,170	5,330	10,500	2,578	5,100	5,060	10,160	△149	△1,001	△340
素形材	761	3,171	1,690	1,790	3,480	759	1,650	1,780	3,430	△1	+258	△50
溶接	231	939	470	500	970	226	460	490	950	△4	+10	△20
機械	580	2,651	1,410	1,500	2,910	661	1,360	1,550	2,910	+81	+258	±0
エンジニアリング	277	1,748	850	1,100	1,950	323	820	1,130	1,950	+46	+201	±0
建設機械	929	3,880	1,970	2,030	4,000	835	1,880	2,030	3,910	△93	+29	△90
電力	546	2,588	1,200	1,100	2,300	458	1,120	1,020	2,140	△87	△448	△160
その他	15	89	25	33	58	14	30	40	70	△1	△19	+12
調整額	△162	△679	△385	△283	△668	△168	△320	△400	△720	△6	△40	△52
売上高	5,907	25,550	12,400	13,100	25,500	5,690	12,100	12,700	24,800	△216	△750	△700
営業損益	310	1,587	600	800	1,400	313	600	700	1,300	+2	△287	△100
鉄鋼アルミ	108	236	75	55	130	54	60	10	70	△54	△166	△60
素形材	10	107	30	50	80	0	20	50	70	△9	△37	△10
溶接	10	52	25	30	55	9	20	30	50	△1	△2	△5
機械	62	325	185	215	400	105	185	215	400	+42	+74	±0
エンジニアリング	14	161	40	80	120	11	25	95	120	△2	△41	±0
建設機械	17	187	20	75	95	12	20	65	85	△4	△102	△10
電力	120	523	185	155	340	85	205	145	350	△34	△173	+10
その他	12	38	20	25	45	2	15	30	45	△9	+6	±0
調整額	△5	△60	△30	△35	△65	5	△50	△40	△90	+11	△29	△25
経常損益	350	1,571	550	650	1,200	287	500	600	1,100	△62	△471	△100
在庫評価影響を除く	340	1,561	570	645	1,215	327	545	610	1,155	△12	△406	△60
特別損益	—	△161	200	△50	150	167	167	33	200	+167	+361	+50
親会社株主に帰属する 当期純損益	240	1,201	500	500	1,000	386	550	450	1,000	+145	△201	±0

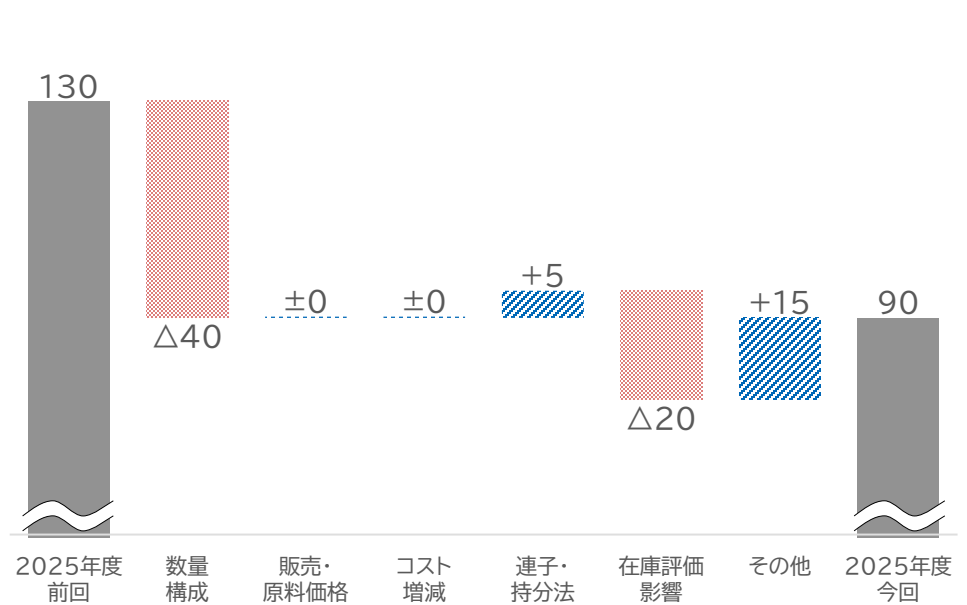
(単位:億円)

	2024年度		2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)				2024年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
売上高	2,244	9,144	4,260	4,390	8,650	2,120	4,210	4,150	8,360	△123	△784	△290
経常損益	127	243	85	45	130	60	90	0	90	△66	△153	△40
在庫評価影響を除く	122	298	140	45	185	105	150	15	165	△16	△133	△20
粗鋼生産量(高砂含む) [万t]	150	596	295	295	590	146	295	285	580	△4	△16	△10
鋼材 販売数量(単体) [万t]	115	472	235	235	470	115	230	230	460	△0	△12	△10
(国内)	90	363				93				+3		
(輸出)	26	109				23				△3		
(輸出比率)	23%	23%				20%				△3%		
鋼材 販売単価 [千円/t]	147	144				138				△9		

2025年度 第1四半期業績 (前年同期比)



2025年度 業績見通し (前回比)

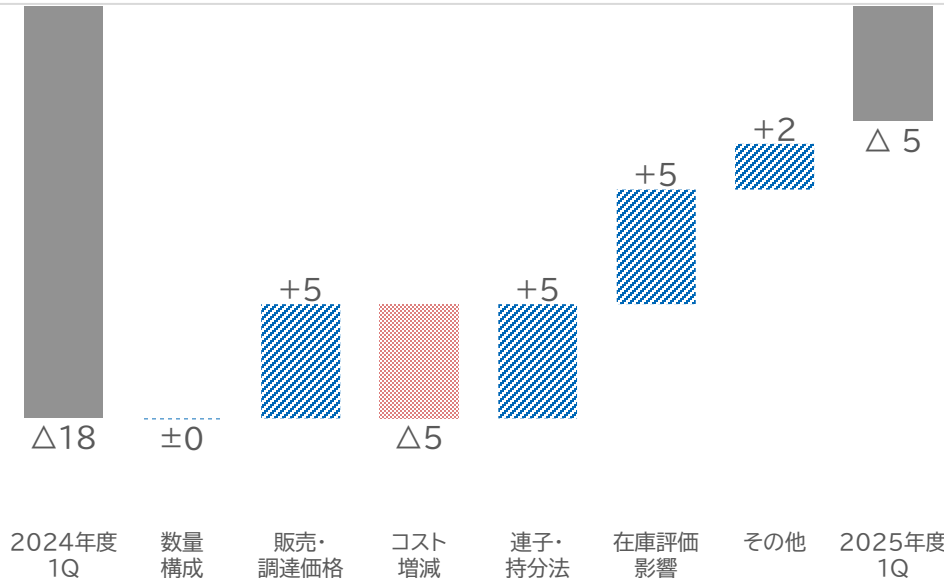


(単位:億円)

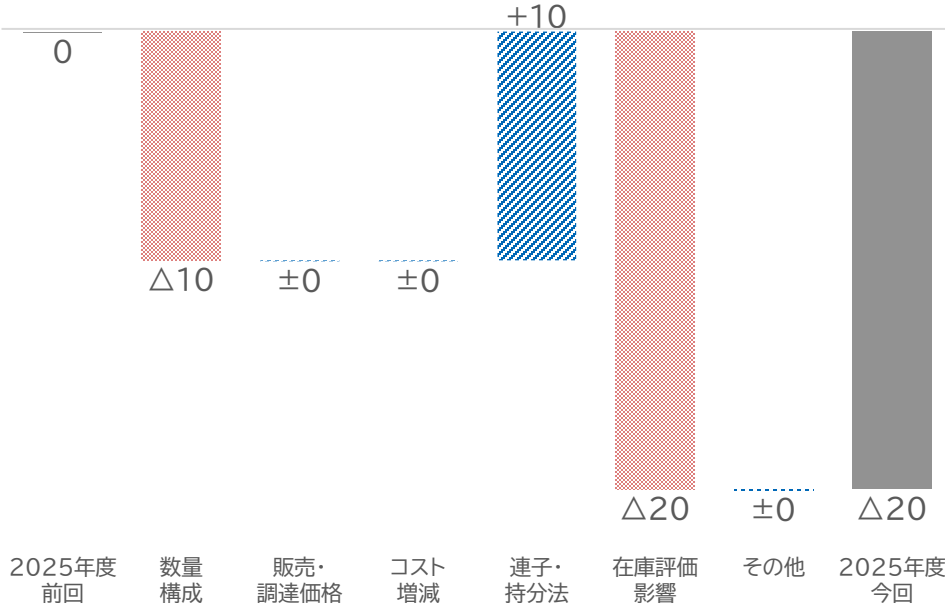
	2024年度		2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)				2024年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
売上高	483	2,017	910	940	1,850	457	890	910	1,800	△25	△217	△50
経常損益	△18	△6	△10	10	0	△5	△30	10	△20	+12	△13	△20
在庫評価影響を除く	△18	△36	△25	△5	△30	△10	△30	0	△30	+7	+6	±0
アルミ板 販売数量(連結) [千t]	78	307	140	135	275	70	135	135	270	△8	△37	△5
(国内)	57	219				57				+1		
(海外)	21	88				12				△9		

※2025年度より神鋼汽車鉛材(天津)有限公司は子会社から関連会社に変更(売上高・販売数量から除外)

2025年度 第1四半期業績 (前年同期比)

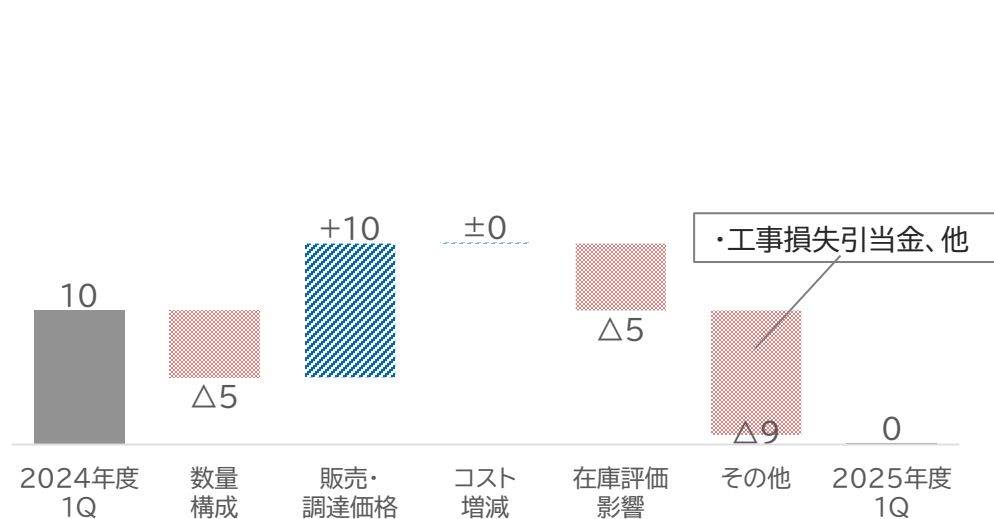


2025年度 業績見通し (前回比)

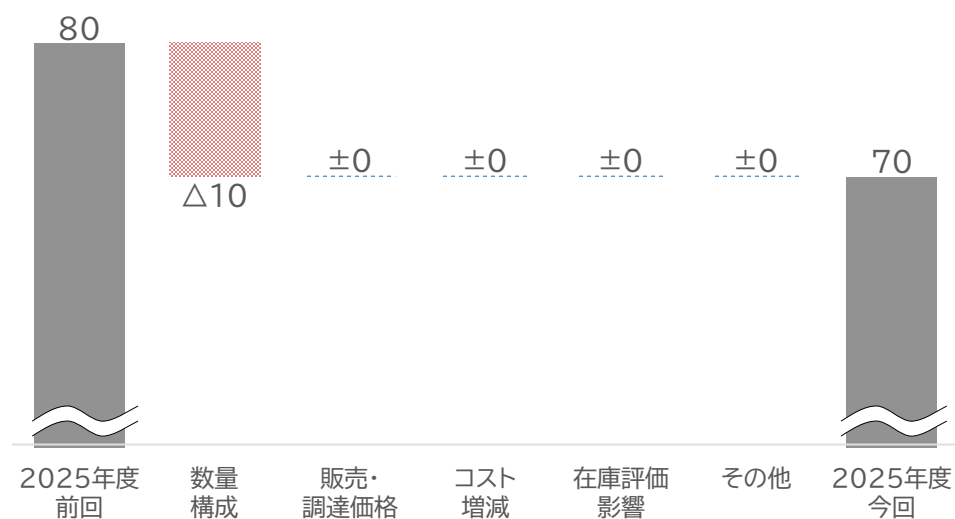


(単位:億円)	2024年度		2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)				2024年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	1Q ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	761	3,171	1,690	1,790	3,480	759	1,650	1,780	3,430	△1	+258	△50
経常損益	10	107	30	50	80	0	20	50	70	△9	△37	△10
在庫評価影響を除く	5	72	10	60	70	0	5	55	60	△4	△12	△10
アルミ押出 販売数量 (連結)[千t]	10	38	19	20	39	9	17	20	37	△1	△1	△2
(国内)	7	30				7				△0		
(海外)	2	8				2				△1		
銅板 販売数量 (単体) [千t]	13	53	28	30	58	13	27	31	58	△1	+5	±0

2025年度 第1四半期業績 (前年同期比)



2025年度 業績見通し (前回比)



※在庫評価影響には、総平均計算による影響および低価法影響を含む

(単位:億円)	2024年度		2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)				2024年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
売上高	231	939	470	500	970	226	460	490	950	△4	+10	△20
経常損益	10	52	25	30	55	9	20	30	50	△1	△2	△5
溶接材料 販売数量 (連結) [千t]	57	227	110	120	230	56	115	120	235	△1	+8	+5
(国内)	24	92				21				△3		
(海外)	33	134				35				+2		

2025年度 第1四半期業績 (前年同期比)

数量 国内:建築・自動車の需要減により、減少
海外:中国での需要増などにより、増加

価格 円高等により、下落

コスト 労務費等の固定費を中心に増加

2025年度 業績見通し (前回比)

数量 国内:前回並みの見通し
海外:中国での需要増などにより、増加

価格 高単価品の減少や円高等により、下落

コスト 労務費等の固定費を中心に増加

(単位:億円)	2024年度		2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)				2024年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	④-①	⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	580	2,651	1,410	1,500	2,910	661	1,360	1,550	2,910	+81	+258	±0
経常損益	62	325	185	215	400	105	185	215	400	+42	+74	±0
受注高	606	2,625	1,400	1,400	2,800	593	1,400	1,300	2,700	△13	+74	△100
受注残高	2,542	2,544				2,389				△152		

2025年度 第1四半期業績（前年同期比）

受注高 前年同期並み

経常損益 エネルギー・化学分野向けを中心とした
本体・サービス売上の増加等により、増益

2025年度 業績見通し（前回比）

受注高 米国経済の先行き不透明感を受けた設備投資の停滞などにより、エネルギー・化学分野で減少の見通し

経常損益 前回並みの見通し

(単位:億円)	2024年度		2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)				2024年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	④-①	⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	277	1,748	850	1,100	1,950	323	820	1,130	1,950	+46	+201	±0
経常損益	14	161	40	80	120	11	25	95	120	△2	△41	±0
受注高	347	1,647	950	1,000	1,950	649	950	1,000	1,950	+302	+302	±0
受注残高	4,481	4,419				4,701				+219		

2025年度 第1四半期業績（前年同期比）

受注高 還元鉄関連事業で大型案件を受注したこと等により、増加

経常損益 案件構成差等により、減益

2025年度 業績見通し（前回比）

受注高 前回並みの見通し

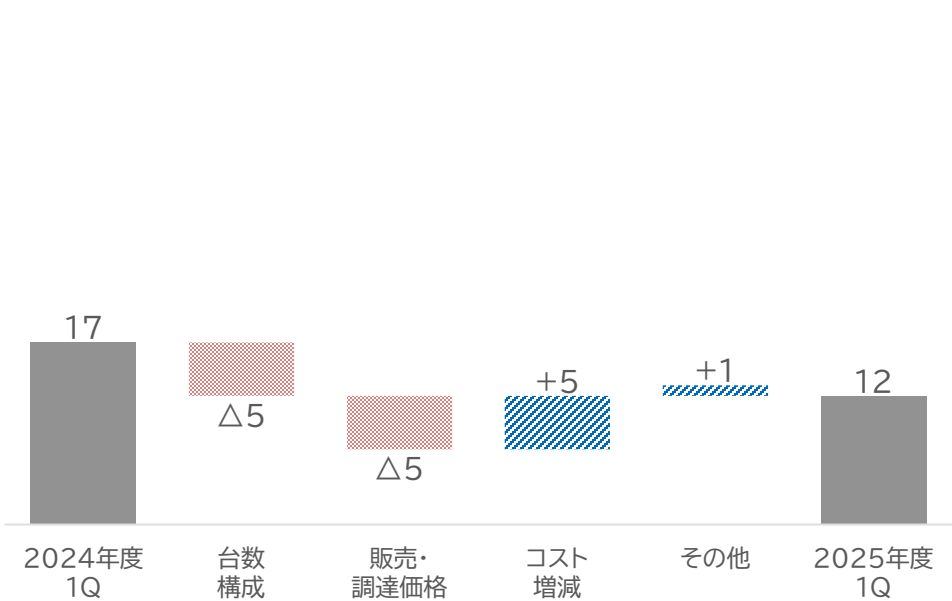
経常損益 前回並みの見通し

(単位:億円)

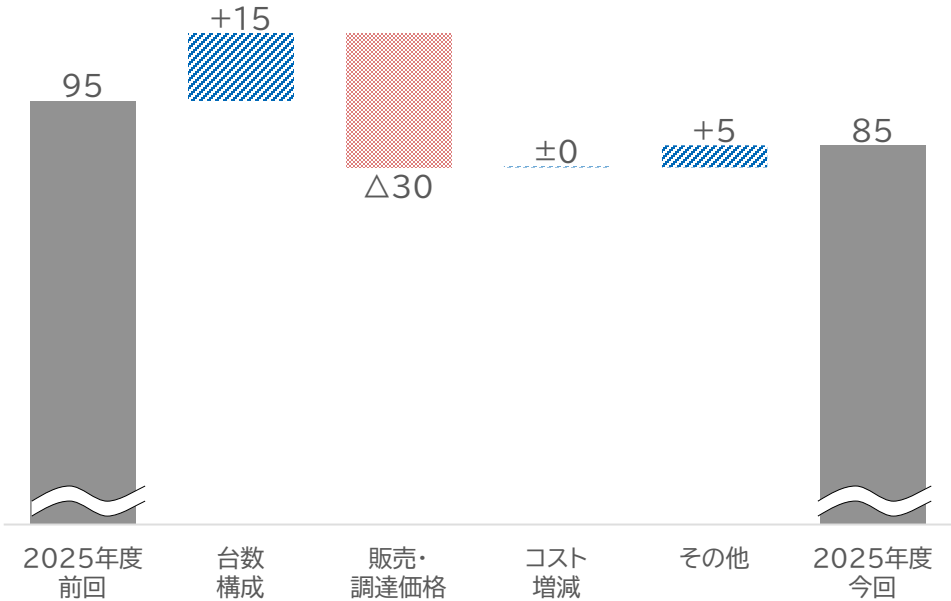
	2024年度		2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)				2024年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	1Q ④-①	通期 ⑤-②	通期 ⑤-③
売上高	929	3,880	1,970	2,030	4,000	835	1,880	2,030	3,910	△93	+29	△90
経常損益	17	187	20	75	95	12	20	65	85	△4	△102	△10
油圧ショベル販売台数(連結) [千台]	5.0	20.3	10.5	11.5	22.0	4.5	10.5	12.0	22.5	△0.5	+2.2	+0.5
(国内)	1.1	6.6				0.9				△0.2		
(海外)	3.8	13.7				3.6				△0.3		
クローラークレーン販売台数(連結) [台]	77	374	175	165	340	68	175	165	340	△9	△34	±0

※1:ミニショベルを含む

2025年度 第1四半期業績 (前年同期比)



2025年度 業績見通し (前回比)



(単位:億円)	2024年度		2025年度見通し(前回)			2025年度見通し(今回)				2024年度比		前回比
	1Q ①	通期 ②	上期	下期	通期 ③	1Q ④	上期	下期	通期 ⑤	④-①	⑤-②	⑤-③
売上高	546	2,588	1,200	1,100	2,300	458	1,120	1,020	2,140	△87	△448	△160
経常損益	120	523	185	155	340	85	205	145	350	△34	△173	+10
燃料費調整の時期ずれ	20	50	0	0	0	10	10	0	10	△10	△40	+10
売電価格に関する一過性の損益影響	0	50	0	0	0	0	0	0	0	±0	△50	±0

2025年度 第1四半期業績（前年同期比）

販売電力量 前年同期比で減少

販売単価 石炭価格の変動により、下落

経常損益 燃料費調整の時期ずれによる増益影響の縮小、保全費等の増加により、減益

2025年度 業績見通し（前回比）

販売電力量 前回並みの見通し

販売単価 石炭価格の変動により、下落

経常損益 燃料費調整の時期ずれによる増益影響等により、増益

参考資料

	2024年度実績				2025年度 (前回)	2025年度 (今回)		
	1Q	上期	下期	通期	通期	1Q	2-4Q	通期
USドル (円/\$)	158.2	152.4	152.7	152.6	150.0	143.8	145.0	144.7
中国元 (円/元)	21.8	21.2	21.1	21.1	21.0	19.9	20.0	20.0
ユーロ (円/€)	170.1	165.8	161.5	163.7	160.0	165.1	170.0	168.8

【為替の感応度分析】

USドル1円 円安に伴う今後の業績影響

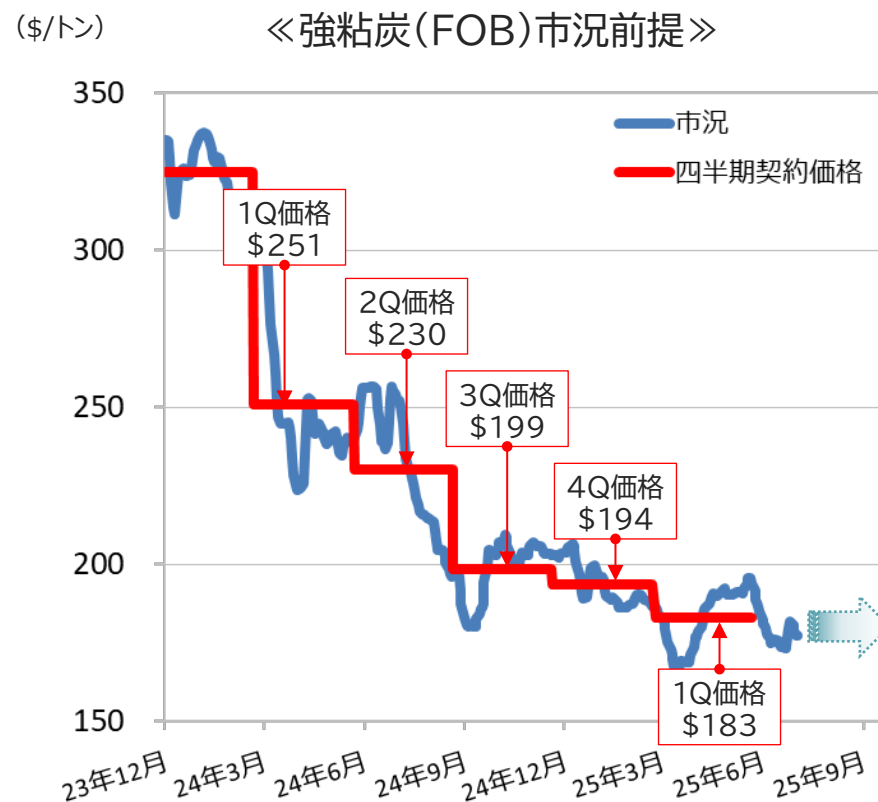
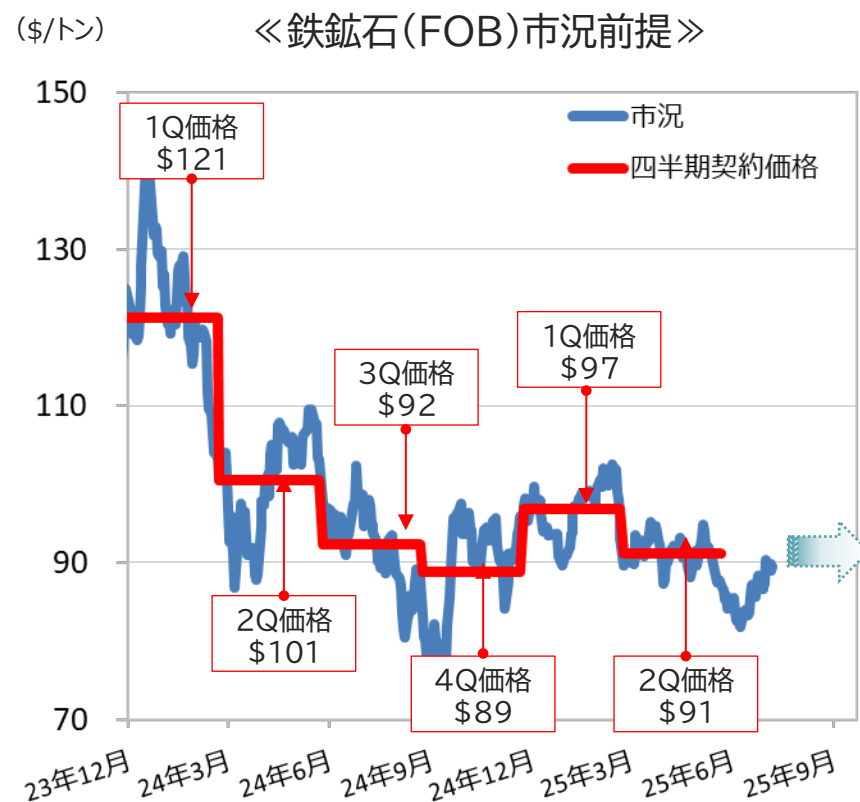
鉄鋼 : △3億円程度(ドルバランスの影響△8億円、在庫評価影響・販売価格への転嫁等+5億円)

建設機械: +2億円程度(ドルバランスの影響)

ユーロ1円 円安に伴う今後の業績影響

建設機械: +2億円程度(ユーロバランスの影響)

鉄鉱石	2025年度2Q価格は\$91で決着済み。下期以降の価格レベルは足元並みの水準にて想定。
強粘炭	2025年度1Q価格は\$183で決着済み。2Q以降の価格レベルは足元並みの水準にて想定。
一般炭	2025年4月から6月にかけて、\$100前後で市況は推移。2Q以降は足元並みの水準にて想定。



在庫評価影響



(単位: 億円)

鉄鋼	2024年度				2025年度(前回)			2025年度(今回)			
	1Q	上期	下期	通期	上期	下期	通期	1Q	上期	下期	通期
鉄鉱石	15	△15	△20	△35	0	0	0	15	5	△10	△5
石炭	△20	△25	△10	△35	0	0	0	△5	△5	0	△5
キャリアオーバー	△5	△40	△30	△70	0	0	0	10	0	△10	△10
総平均	5	35	△70	△35	△40	△10	△50	△55	△50	△25	△75
低価法	0	△10	△10	△20	△15	10	△5	10	△10	10	0
在庫評価影響	5	25	△80	△55	△55	0	△55	△45	△60	△15	△75

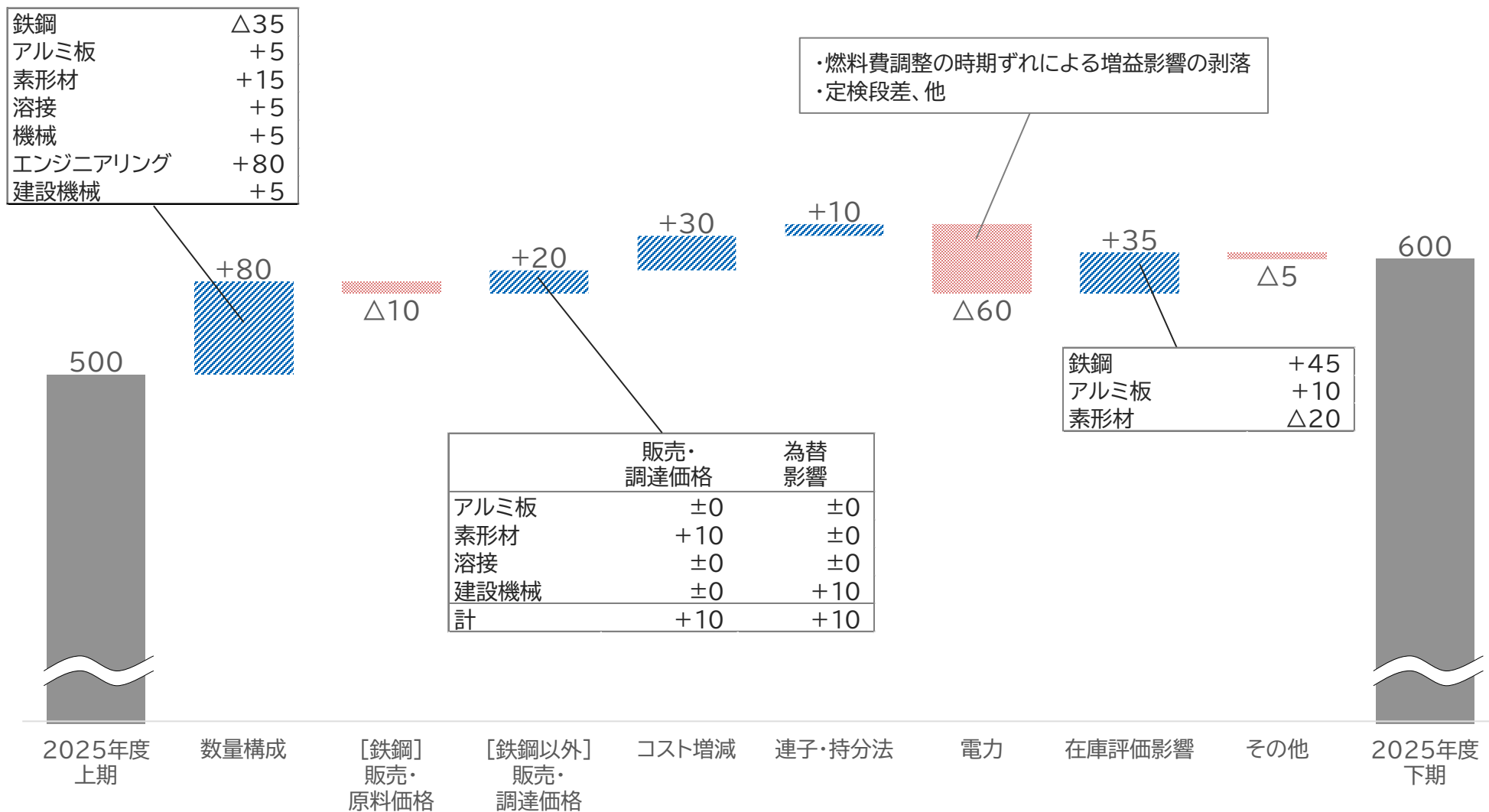
アルミ板	2024年度				2025年度(前回)			2025年度(今回)			
	1Q	上期	下期	通期	上期	下期	通期	1Q	上期	下期	通期
総平均	△5	△5	30	25	15	15	30	10	0	10	10
低価法	5	5	0	5	0	0	0	△5	0	0	0
在庫評価影響	0	0	30	30	15	15	30	5	0	10	10

素形材	2024年度				2025年度(前回)			2025年度(今回)			
	1Q	上期	下期	通期	上期	下期	通期	1Q	上期	下期	通期
総平均	10	25	10	35	15	△10	5	10	20	△10	10
低価法	△5	△10	10	0	5	0	5	△10	△5	5	0
在庫評価影響	5	15	20	35	20	△10	10	0	15	△5	10

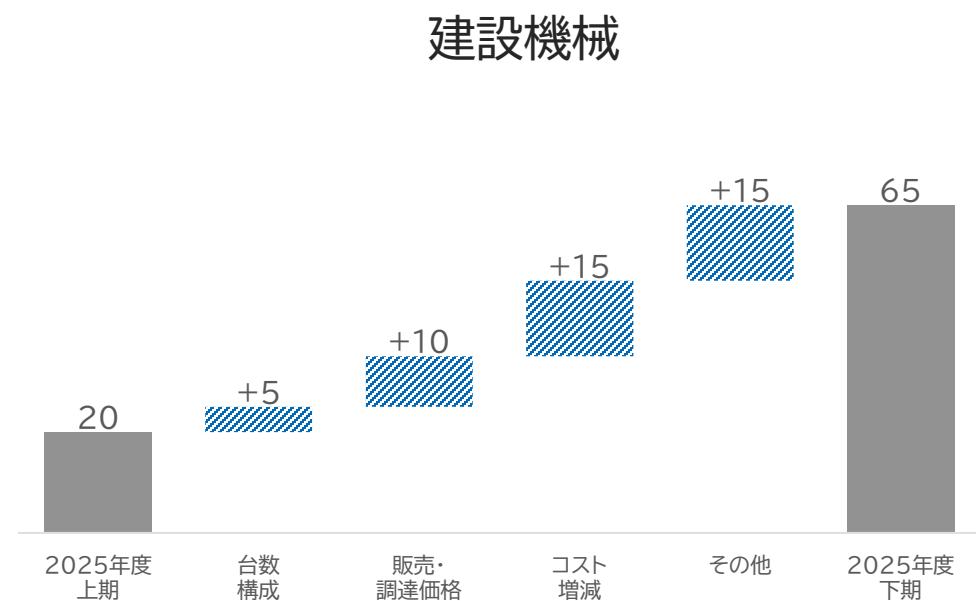
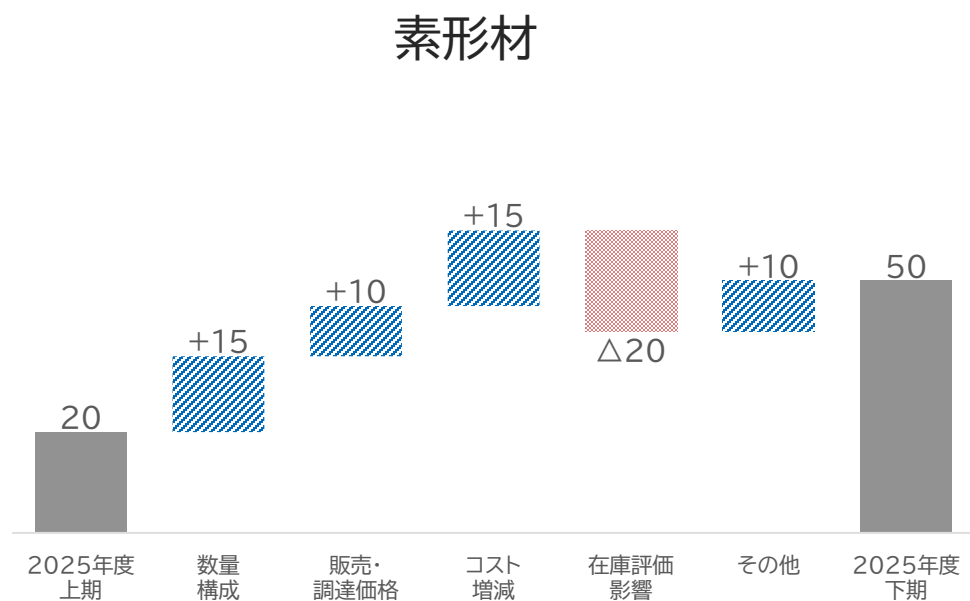
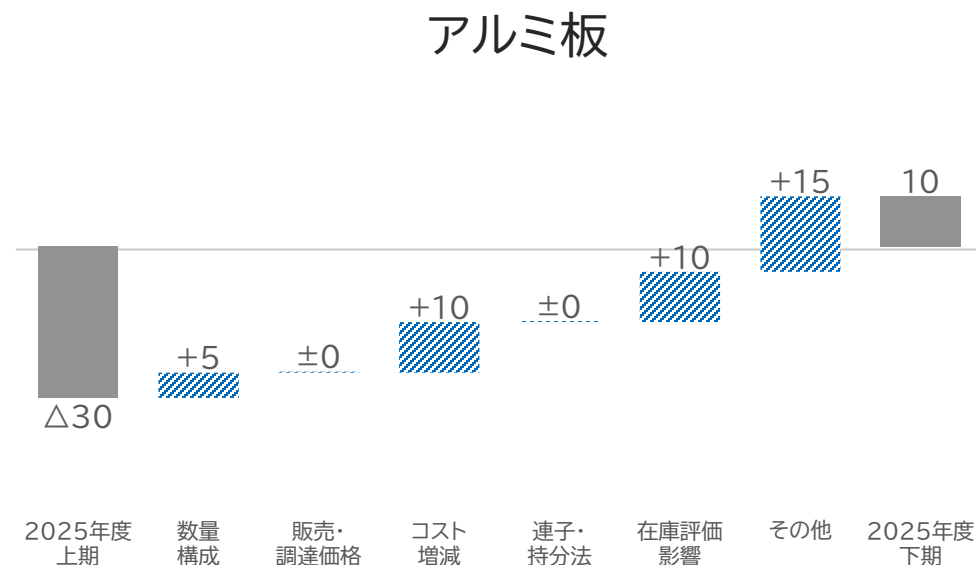
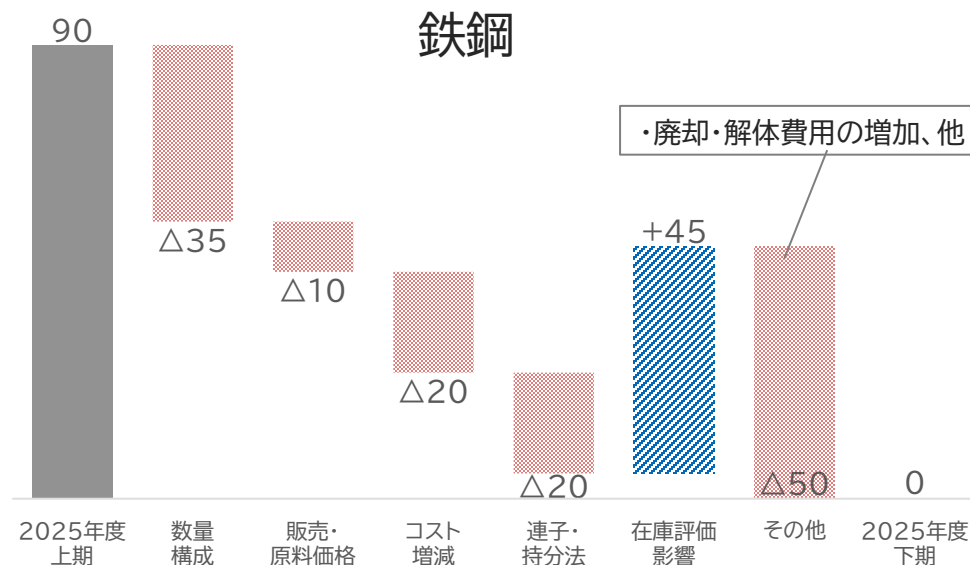
KOBELCO

2025年度 業績見通し: 経常損益 上期→下期差異内訳

+100億円



2025年度 業績見通し:経常損益 上期→下期差異内訳 主要セグメント

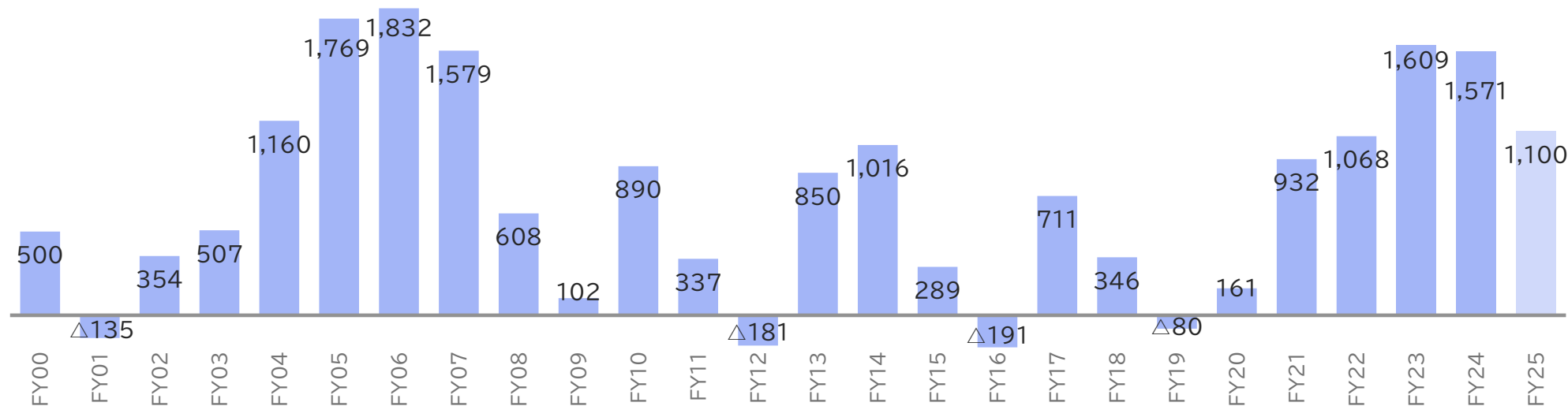


		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 見通し(前回)	2025年度 見通し(今回)
設備投資	計上	973億円	1,052億円	1,158億円	1,300億円	1,300億円
	支払	989億円	948億円	1,132億円	1,500億円	1,500億円
減価償却費		1,125億円	1,190億円	1,224億円	1,250億円	1,250億円
純資産比率		34.0%	38.6%	42.8%	44%程度	44%程度
有利子負債(リース含)		9,172億円	8,735億円	8,863億円	7,800億円	8,100億円
D/Eレシオ ※1		1.00倍	0.83倍	0.76倍	0.65倍程度	0.7倍程度
営業キャッシュフロー		1,196億円	2,052億円	1,482億円	2,100億円	1,900億円
投資キャッシュフロー		△ 972億円	△ 537億円	△ 1,138億円	△ 1,200億円	△ 1,200億円
フリーキャッシュフロー		224億円	1,515億円	343億円	900億円	700億円
現預金残高		2,033億円	2,787億円	2,198億円	1,700億円	1,800億円
1株当たり当期純損益		183.80円	277.38円	304.64円	253.15円	253.99円
ROE ※2		8.4%	11.1%	10.8%	8%程度	8%程度
ROIC ※3		4.9%	6.7%	6.9%	5%程度	5%程度

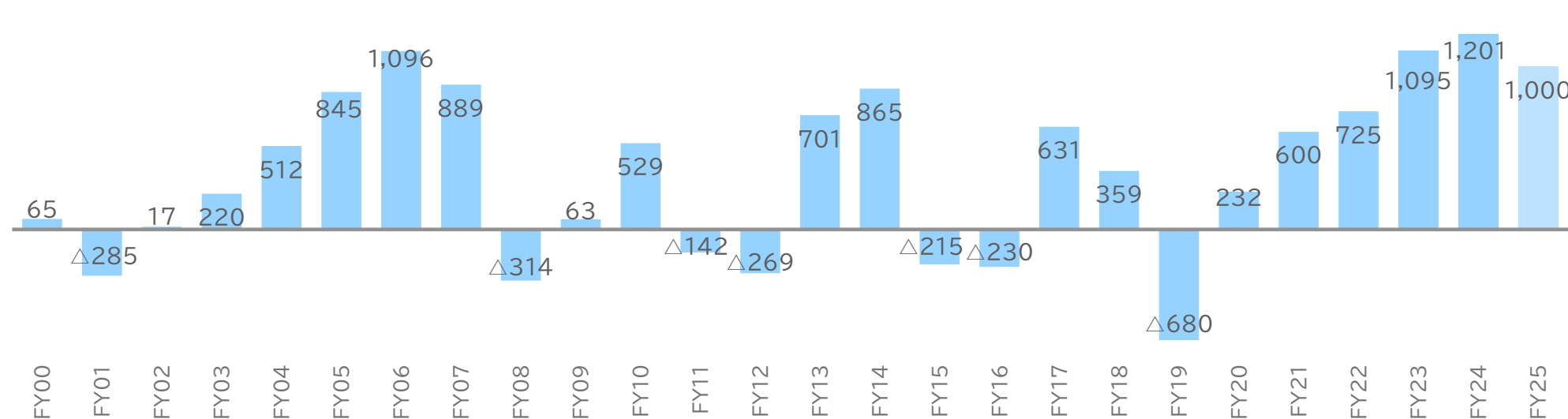
※1:D/Eレシオ=有利子負債(リース含む)/自己資本 ※2:親会社株主に帰属する当期純損益/自己資本 ※3:税引後事業利益/投下資本

(単位：億円)

【経常損益】



【親会社株主に帰属する当期純損益】



資本市場との対話

当社は持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けて、資本市場との対話を積極的に進めており、その内容をホームページに開示しています。

2024年度版(2025年6月公表): [capital markets 24.pdf](#)

KOBELCO

資本市場との対話について
【2024年度】

2025年6月
株式会社 神戸製鋼所

社会からの評価(主なもの)

◆FTSE4Good Index Series



FTSE4Good

◆FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

◆FTSE Blossom Japan Index



FTSE Blossom
Japan Index

◆DX銘柄2025



DX注目企業2025

Digital Transformation

◆MSCI JAPAN ESG SELECT LEADERS INDEX ※

2025 CONSTITUENT MSCI JAPAN
ESG SELECT LEADERS INDEX

◆MSCI JAPAN EMPOWERING WOMEN INDEX(WIN)※

2025 CONSTITUENT MSCI JAPAN
EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)

※THE INCLUSION OF KOBE STEEL, LTD. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF KOBE STEEL, LTD. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI.

MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

KOBELCO が 実現したい未来	「KOBELCOの使命・存在意義」の実行を通じて実現したい社会・未来 安全・安心で豊かな暮らしの中で、 今と未来の人々が夢や希望を叶えられる世界。
KOBELCO の 使命・存在意義	KOBELCOグループの社会的存在意義であり、果たすべき使命 個性と技術を活かし合い、 社会課題の解決に挑みつづける。
KOBELCO の 3つの約束	KOBELCOグループの社会に対する約束事であり、グループで共有する価値観 1. 信頼される技術、製品、サービスを提供します 2. 社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます 3. たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します
KOBELCO の 6つの誓い	「KOBELCOの3つの約束」を果たすため、品質憲章とともに全社員が実践する行動規範 1. 高い倫理観とプロ意識の徹底 2. 優れた製品・サービスの提供による社会への貢献 3. 働きやすい職場環境の実現 4. 地域社会との共生 5. 環境への貢献 6. ステークホルダーの尊重 品質憲章

- 本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略等、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性等様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。
- 上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。
 - ・ 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
 - ・ 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
 - ・ 為替相場の変動
 - ・ 原材料のアベイラビリティや市況
 - ・ 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&A等の事業展開
 - ・ 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化